



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月12日

上場会社名 マイクロ波化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9227 URL http://mwcc.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野 巖
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 下條 智也 TEL 06-6170-7595
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	157	—	△36	—	△65	—	△66	—
2022年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	△4.90	—
2022年3月期第1四半期	—	—

(注) 1. 2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期の数値及び2022年3月期第1四半期の前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 2023年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,532	1,506	59.5
2022年3月期	1,582	625	39.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 1,506百万円 2022年3月期 625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2023年3月期	0.00	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,133	31.7	67	—	30	—	45	—	3.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	15,147,000株	2022年3月期	13,443,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	一株	2022年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	13,592,890株	2022年3月期1Q	一株

(注) 1. 2022年3月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2022年3月期第1四半期における期中平均株式数を記載しておりません。

2. 2022年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。当該株式分割については、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。なお、当社は前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っていません。

(1) 経営成績に関する説明

製造業の中でも化学産業は、原料や素材を担う産業として経済の発展を支えてきました。しかしながら、多くの製品や製法にイノベーションが起こる中、同産業は長きにわたってその登場からほとんど姿を変えておらず、現在も未だ重厚長大のエネルギー大量消費型のプロセスが多く残っています。

当社は、「何を作るか」ではなく「どのように作るか」に着目し、製造プロセスを化石資源由来の「熱と圧力」から電気由来の「マイクロ波」に置き換えることで、「省エネルギー」・「高効率」・「コンパクト」な環境対応型プロセスのグローバルスタンダード化を目指す技術プロバイダーです。

当社は、「デザイン力」及び「要素技術群」からなる技術プラットフォームを駆使して、顧客課題に応じて、ラボ開発、実証開発といった研究開発フェーズから、実機製作、製造支援といった事業フェーズまでをワンストップでソリューションとして提供しております。現在では、食品添加物、医薬品、炭素素材、電子材料などの幅広い分野において研究開発のパイプライン拡充及び積極的な事業開発活動を行っております。

クリーンテック・グリーンケミカル分野においては、2020年10月、臨時国会で「2050年カーボンニュートラル」が宣言されたことを受け、経済産業省により2兆円のグリーンイノベーション基金が造成されるなど、二酸化炭素排出の削減を経営課題として取り組む企業等に対して、研究開発・実証から社会実装までを継続して支援を行う機運が高まっております。

当社が研究開発を進めるマイクロ波プロセスは、化石資源ではなく電気由来であり、「内部加熱」「選択加熱」「急速加熱」などの特徴により効率的なエネルギー伝達を可能とするマイクロ波を利用することで、化石資源を利用している従来プロセスと比較して、大幅な二酸化炭素削減が可能であるため、近年、カーボンニュートラル実現に向けた有望なキーテクノロジーとして注目されております。

このような状況のもと、新規案件の獲得活動に注力したほか、ラボフェーズに続いて実証フェーズに進んだ案件の開発を着実に進めた結果、当第1四半期会計期間末時点では、新規案件獲得数は通期計画25件に対して7件、契約済みの案件総数は通期計画52件に対して31件（うち12件は当第1四半期累計期間に売上計上）となりました。以上の結果、当第1四半期累計期間における経営成績は、売上高157,322千円、営業損失は36,053千円、経常損失は65,948千円、四半期純損失は66,660千円となりました。

また、当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は2,532,281千円となり、前事業年度末に比べ949,871千円増加しました。これは主に、現金及び預金が953,119千円、仕掛品が34,655千円、その他流動資産が56,316千円それぞれ増加したのに対し、売掛金が87,966千円減少したことによるものであります。

負債合計は1,026,196千円となり、前事業年度末に比べ69,224千円増加しました。これは主に、その他流動負債が79,048千円増加したことによるものであります。

純資産は1,506,084千円となり、前事業年度末に比べ880,646千円増加しました。これは、資本金及び資本準備金がそれぞれ473,653千円増加したのに対し、利益剰余金が66,660千円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の業績予想につきましては、2022年6月24日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大が当社の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、今後の状況の変化により、業績予想の修正が必要になった場合、速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	220,528	1,173,647
売掛金	159,546	71,579
仕掛品	13,691	48,347
その他	122,048	178,364
流動資産合計	515,815	1,471,939
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	355,245	350,261
その他(純額)	295,817	295,497
有形固定資産合計	651,062	645,758
無形固定資産	15,166	14,522
投資その他の資産		
関係会社株式	319,444	319,444
その他	80,921	80,615
投資その他の資産合計	400,365	400,059
固定資産合計	1,066,594	1,060,341
資産合計	1,582,409	2,532,281

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,705	4,722
1年内返済予定の長期借入金	50,000	50,000
未払法人税等	10,021	5,164
その他	146,936	225,984
流動負債合計	211,662	285,871
固定負債		
長期借入金	410,000	410,000
リース債務	335,309	330,325
固定負債合計	745,309	740,325
負債合計	956,971	1,026,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,298,446	2,772,099
資本剰余金	—	473,653
利益剰余金	△1,673,008	△1,739,668
株主資本合計	625,437	1,506,084
純資産合計	625,437	1,506,084
負債純資産合計	1,582,409	2,532,281

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	157,322
売上原価	20,411
売上総利益	136,910
販売費及び一般管理費	172,964
営業損失(△)	△36,053
営業外収益	
受取褒賞金	1,000
その他	27
営業外収益合計	1,027
営業外費用	
支払利息	1,965
上場関連費用	28,955
営業外費用合計	30,921
経常損失(△)	△65,948
特別損失	
固定資産除却損	0
特別損失合計	0
税引前四半期純損失(△)	△65,948
法人税、住民税及び事業税	712
法人税等合計	712
四半期純損失(△)	△66,660

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2022年6月24日をもって東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。上場に当たり2022年6月23日を払込期日とする公募(ブックビルディング方式による募集)による新株式の発行1,700,000株により資本金及び資本準備金が473,110千円増加しております。この結果、当第1四半期累計期間末において、資本金が2,772,099千円、資本準備金が473,653千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、マイクロ波化学関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。